

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆貿易赤字3年連続、23年度5.8兆円 資源高一服で縮小

・財務省が17日発表した2023年度の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は5兆8918億円の赤字。赤字は3年連続となる。原油など資源価格の高騰が一服したことなどから金額は73.3%減。輸出額は前年度比3.7%増の102兆8982億円で過去最高となった。23年通年でも100兆円を超えていたが、年度でも初めて大台に乗った。

◆3月の訪日客、最多308万人 1～3月旅行消費も過去最高

・日本政府観光局(JNTO)は17日、3月の訪日客数が308万1600人だったと発表。新型コロナウイルス流行前の2019年3月を11.6%上回った。統計をとり始めた1964年以降、300万人を突破したのは初めて。単月で過去最高だった19年7月(299万1189人)を超えた。トップは韓国の66万3100人でコロナ禍前の19年3月比で13.2%増。

◆派遣時給、再び最高更新 3月は2.7%高の1696円

・人材サービス大手のエン・ジャパンが17日発表した3月の派遣社員の募集時平均時給は、三大都市圏(関東・東海・関西)で前年同月比44円(2.7%)高い1696円。過去最高を4カ月ぶりに更新。春季労使交渉で大幅な賃上げが相次ぐ中、企業は派遣社員の待遇改善も進め人材の確保に力を入れている。同社の求人情報サイト「エン派遣」の掲載情報をまとめた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆改正建築物省エネ法 2025年施行関係政令を閣議決定

・政府は「改正建築物省エネ法」の施行期日、および同法の施行に必要な関係政令を閣議決定。施行は2025年4月1日。今年4月1日から建築物の販売・賃貸時における省エネ性能表示、再エネ利用促進区域制度、防火規制の合理化などが施行。25年から、原則すべての新築住宅・非住宅への省エネ基準適合の義務付けや対象の見直しなどを施行。

◆ICT活用で3割省人化 公共工事に新目標—国交省

・国土交通省は建設業の担い手不足に対応、情報通信技術(ICT)の活用に関する新たな数値目標を発表。人が搭乗しない重機の利用などで、国の直轄工事に携わる作業員の人数を2040年度までに23年度比で3割減らすことを目指す。建設業界では4月から残業時間の規制が強化。生産性を現在の水準から1.5倍に引き上げる目標も掲げた。

◆生活困窮者の住居確保支援 改正法が成立

・経済的に厳しい状況にある人の自立支援を強化する改正生活困窮者自立支援法などが17日の参院本会議で可決、成立。単身高齢者ら困窮世帯の住居確保支援や、子どもの貧困対策の充実などが柱。一部を除き、2025年4月1日に施行。収入の減少などで住居を失う恐れがある人に家賃相当額を支給する「住居確保給付金」を拡充。

《 注目商品 》

■パナソニック、オフィス・施設向け「アラウーノ小便器」を発売

・細かいキズがつきにくい有機ガラス系素材を使ったオフィス・商業施設向けの小便器「アラウーノ小便器」の受注を4月22日に開始。少ない水量で洗浄でき、継ぎ目や凹凸が少ないため掃除の手間を軽減。重量は約6分の1以下のため、配送・施工の負担も軽減。



■リンナイ 白いビルトインガスコンロ HOWARO ハイグレードモデル

・白を基調としたビルトインコンロ「HOWARO Built-in(ホワロ ビルトイン)ガスコンロ」のハイグレードモデルである、「HOWARO Built-in Prime(ホワロ ビルトイン プライム)」を発売。スタイリッシュなデザインと便利な調理機能を搭載し理想の白いキッチンを実現。



■ABC商会、クォーツストーン製の角型洗面カウンター

・人造石・クォーツストーンのスクエア型洗面カウンター「バレッサフィット」「バレッサスロー」「ボックス」を発売。天然水晶を使用し、天然石のような見た目と耐汚染性・耐久性をあわせもつ人造石・クォーツストーン(サイルストーン)の洗面カウンター。

